



ハトダヨ
2025年
10月号

函 館

館

市

編集・発行

函館市中央図書館 指定管理者

図書館流通センター・マルエイヘルシーサービス共同事業体

TEL:0138-35-5500 URL <https://hakodate-lib.jp/>

ト

ダ

ヨ

中央図書館だより

第113号 令和7年10月2日 発行

図書館からのお知らせ

10月27日(月)から11月9日(日)は第79回読書週間です。
読書週間は、「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」という
決意のもと、終戦まもない1947年(昭和22)年に始まりました。
図書館ではこの読書週間にあわせて、毎年色々なイベントを開催し
ていますので、ぜひご参加ください。
(くわしくは2ページ目をご覧ください!)



始まりました!

10月から電子図書館が始まりました

電子図書館とは・・・
図書館が所蔵する書籍をインターネットを通じて
利用できるサービスのことです。
利用方法など詳しい説明は、当図書館ホーム
ページやポスターなどをご覧ください。



地区館からのお知らせ

特別整理期間のお知らせ

千歳図書室・湯川図書室・桔梗配本所

では図書の点検・整理のため下記の期間休館致し
ます。ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

定例休館日含む

千歳・湯川 10月13日(月)～20日(月)

桔梗 10月12日(日)～19日(日)

(この期間、中央図書館や他の地区館は、通常通り
開館しています)

開架展示のご案内

第17回「みんなのおすすめ本」

9月27日(土)～10月30日(木)

毎年好評をいただいている、図書館スタッフによる「わたしたちのおすすめ本」。
今年も工夫を凝らした手作りPOPを添えていますので、気になる本がありましたら
ぜひお手に取ってください!



読書週間のイベントのご案内

「図書館員によるブックトーク」

日時:10月25日(土) 14:00~15:00
(開場 13:30)

場所:中央図書館 大・中研修室
定員:50 名(申込不要・先着順)

図書館員 6 名による
熱いトークをお楽しみください

「大人図書館ツアー」

日時:11月7日(金) 13:00~14:00
場所:中央図書館 大研修室
定員:12 名(18歳以上の方・事前申込必要)
申込:中央図書館窓口、または電話にて受付
(TEL:0138-35-5500)

募集開始:10月14日(火) 9:30より
定員となり次第締切

図書館の裏側を
見に行けます!



「河崎秋子氏 講演会」

詳しくはHPや館内のポスター・チラシなどをご覧ください

日時:11月2日(日) 13:00~14:30
(開場 12:30)

場所:中央図書館 視聴覚ホール
定員:150 名(事前申込必要)
申込:中央図書館窓口、または電話にて受付
(TEL:0138-35-5500)

募集開始:10月4日(土) 9:30より
定員となり次第締切

2024 年『ともぐい』で
直木賞受賞

「図書館へ行こう」

日時:10月25日(土)~11月9日(日)
9:30~17:00

場所:中央図書館 児童カウンター

図書館ならではの楽しいクイズや、
ガチャガチャなどをご用意しています。
ぜひチャレンジしてみてください!

スタッフのおすすめ本

「終電車ならとっくに逝ってしまった」

著者:フジモト マサル
出版社:新潮社 (2011年11月)
場所:A25~30 請求記号:914.6 フシ

イラストレーターで漫画家のフジモトマサルの描く動物は、どこか奇妙でありながら穏やかで、心和む存在です。本書は、そんな世界観を味わえる画文集でエッセイも収録されています。その中の一篇「コピー」では、他人の記憶を自分のものにすり替える出来事を通してフィクションの意義が浮かび上がり、意外な余韻を残します。没後10年を迎える今年、まだ作品に触れていない方は、画業をまとめた『フジモトマサルの仕事』から読み始めてはいかがでしょうか。きっと楽しい出会いが待っています!

「正解のない絵画図鑑」

作:鮫島 圭代
出版社:幻冬舎 (2024 年 3 月)
場所:児童 20~22 他 請求記号:720 サメ

秋といえば、食欲・スポーツ・芸術・読書と楽しみがたくさんあります。美味しい物もたくさんでつい食欲に偏りがちですが、秋の夜長に芸術に触れながらゆったり読書はいかがでしょうか。

こちらの本は、ゴッホ・ムンク・草間彌生など有名な名画31点を紹介。「難しいことは考えず、絵は自由な見方で楽しめばいいんだよ」と教えてくれます。小学生向けの児童書ですが、世界一わかりやすい画家紹介や専門的知識も豊富で、家族でも大人でも楽しめる1冊です。



ぜひ、読んで
みてください!

図書館俳句ポスト受賞者

6月俳句ポストへ応募された中から選ばれた作品です。
おめでとうございます。お題は「雨蛙(あまがえる)」。

貸出 ランキング

今現在人気
の本は？



貸出数の多かった本をご紹介します。
(令和7年6月1日～令和7年9月15日現在)

1 『架空犯』

東野 圭吾／著

2 『あなたが誰かを殺した』

東野 圭吾／著

3 『逃亡者は北へ向かう』

柚月 裕子／著

4 『青い壺』

有吉 佐和子／著

5 『ともぐい』

河崎 秋子／著

特選

内視鏡終へて夕焼けにしやつくり

松浦学

佳作

六月の弥勒菩薩の指の瑕

剛たまえ

ジャグリングの拍手や葉桜を揺らす

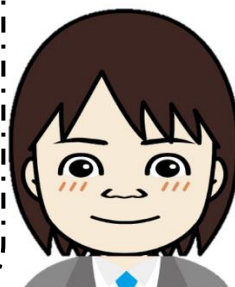
中西芳之

入選

鍬打つ手止めれば畔に雨蛙

安福巖

館長随想 (四十三)



10月2日木曜日朝の9時30分から電子図書館が始まります。

電子図書をスマートフォン、タブレット、パソコンなどで見ることが出来ます。紙の本とどこが違うのかというと、家で貸出ができ、返却しに来館の必要がありません。スマートフォンなどでは容易に持ち運びができます。旅先でも読めますので便利です。読み上げ機能もついている電子図書もあります。拡大、書き込みもできます。

中央図書館は来月開館20年になり、素敵な建築でゆったりと過ごせるし、蔵書数もたくさんで自慢の図書館です。ただ、開館日に来館が難しい方もいらっしゃることは把握しており、なんとかしたいとかねがね考えておりました。家でも貸し借りができ、閲覧できる電子図書館、最初は試行錯誤しながら始まります。存分に使ってください。忌憚のないご意見をいただき、より良い形にしていきたいと思います。

10月もスタンプリリーとして五稜郭祭りに協力、職員によるブックトークイベントもあります。読書・文化の秋、そしてお出かけも楽しいちようどいい季節です。皆様のお越しをお待ちしております。

今月末には読書週間も始まり、いよいよ11月は五稜郭に移転して20周年。こどもも大人も喜ぶイベントを職員が知恵を絞る用意しています。どうぞお楽しみに！

おうちで電子書籍を見ている方もこのときはぜひご来館いただけたらと願っております。(館長 落合仁子)



図書館のコピー機を使おう！

中央図書館にはコピー機があるけれど使ってもいいのかな？



もちろん！ けどルールがあるよ。図書館のコピー機でコピーできるのは図書館の資料だけ。申込みが必要だし、著作権者の利益を守るためにコピーできる範囲にも制限があるんだ！

基本的には一著作（一人の作者が書いたもの）の半分までコピーできるよ。ただし、一冊の本でも解説とか作者以外の人が書いていた部分はその半分まで。他にも資料によっては次のような決まりがあるものもあるんだ。

地図

一枚物の地図ならその半分まで、地図帳なら見開きの半分までコピーできます。



雑誌・新聞

最新号なら個々の記事の半分まで、バックナンバーなら一冊の半分までコピーできます。



辞書・事典

各項目の半分までコピーできます。項目が1ページ未満の場合はスタッフにご相談ください。



写真集・楽譜・画集

個々の作品（各楽譜・画・写真）の半分までコピーできます。

べつにコピー機を使わなくてスマホで撮るからいいよ。

ちょっとまった！ 撮影もコピーと一緒に申し込みが必要なんだ。写せる範囲もコピーと同じで、撮影できるのも中央図書館でだけだよ。



今回紹介したのはほんの一例だよ。資料によっては全部複写できるものもあるから、資料のコピー／撮影をしたいと思ったらまずは図書館のスタッフにきいてね！

